

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PAKARA KIDS		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 15日		R7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	CAREプログラムを取り入れた人間関係支援	ホースセラピーや日々の遊びの中で、CAREプログラムをつかい、子供の行動に肯定的な注目をむけながら関わることで、適切なコミュニケーションを促し、子供の自己肯定感の向上と大人との信頼関係を育んでいる	職員がCAREプログラムを意識した関わり方を行い、どの子に対しても一貫したポジティブな関りが出来る体制を強化する
2	ゲーム性を融合させてホースセラピーの取り組み	ホースセラピーにボール入れや輪投げなどゲームの要素を導入。楽しみながら、体幹に刺激を入れるだけでなく、『成功した』という達成感を感じられるようにしている	姿勢保持や身体の使い方の変化などを記録し、支援効果の可視化を行っていく
3	関係機関との連携体制が整っている	学校機関や相談支援専門員、吉備中央町内の多事業所と情報共有を行っている	相談支援専門員や吉備中央町内の多事業所とのつながりの強化をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アクセスが悪い	公共交通機関が利用できない立地であり、送迎が必須	効率的な送迎ルートのも再構築
2	ホースセラピーによる支援効果の発信不足	活動内容は充実しているが、効果を十分に言語化出来ず発信できていない	保護者向けフィードバックの具体化 SNSや広報で専門性を発信
3			